

松島里海バスケット

NPO法人環境生態工学研究所(E-TEC)

事業概要

松島は生態系サービスにより成立してきた「里海」ですが、その基盤となる藻場は震災や高水温の影響で壊滅的被害を受けました。E-TECは藻場モニタリングや教育活動、再生活動イベントを継続し、課題共有や人材育成を通じて多様な主体の参加を促し、持続可能な里海づくりとコンソーシアム設立を目指して活動しています。



今年度取り組み内容

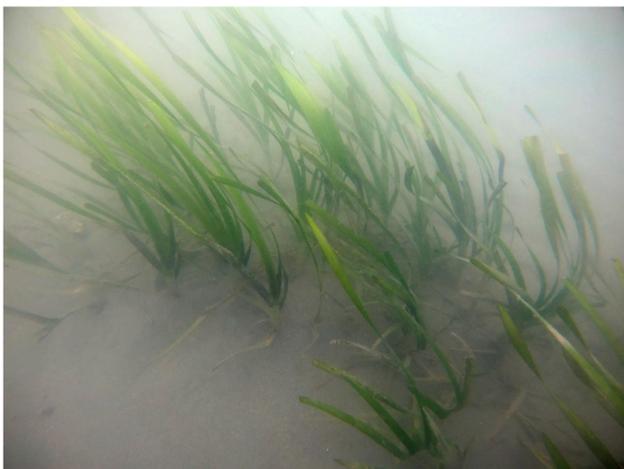
震災以降、松島湾全域で藻場分布調査を継続して行うとともに、「里海」の現状を知っていただくためのイベントも開催しました。さらに、里海事業の関係団体や環境省との情報交換・交流を進め、事業を持続・自走させるための活動にも取り組みました。加えて、活動環境の整備を進め、持続可能な里海づくりの基盤を強化しました。



今年度成果



藻場分布調査の結果では、昨夏までに大幅減少した藻場の回復がみられ、種子や母草の漂流を多地点で確認しました。イベントは少人数で効率的に実施し、協力体制を拡大しました。関係団体や環境省との交流会を通じて人脈と情報を獲得し、交流を深めました。さらに広報活動にも力を入れ、HPの改善やパンフレット・絵はがき案の作成を進めています。今年度は特に、これらの費用整理を行い、今後の計画見直しに活用できる基盤を築きました。



次年度以降の目指す方向性

次年度以降は現状に合わせた計画の見直しと藻場回復のための研究を進めます。多様な主体との協働や人材育成を強化し、情報発信と交流を拡充して里海づくりとコンソーシアム設立準備を目指します。その際、自然環境の現状を踏まえた科学的・社会的な手法の実装やステークホルダーとの調整が重要課題です。

問い合わせ先

NPO法人環境生態工学研究所(E-TEC) 担当: 齊藤 愛実
メール: m-saito@y-rikagaku.jp